

【中学生議会 市長答弁様式1】豊かな産業のあるまち①

質 問 区 分	中学生議会	議 員 名	<small>なかざわ</small> 中澤 <small>あらた</small> 新議員
発言順(通し番号)	NO: 7	所管課・室名	農林部

質 問 事 項	農業・地域資源の活用について
具 体 的 な 提 言	そば祭りの他に、お米祭りなどを催して安曇野市のことを伝える場をつくる

【市長答弁】

なかざわ

中澤議員のご質問にお答えします。

議員からご質問いただきました「お米」は、リンゴ・わさびと並び、安曇野市が誇る主要な農産物の代表格であります。

近年は、海外で日本酒がブームになっていることから、全国のみならず、海外へも安曇野のお米を使った日本酒を広めるべく、取り組みを始めたところであります。

なぜ、「お米」が安曇野のブランド農産物なのかと申しますと、三つの理由が考えられます。三つとは、「恵まれた気候」「豊かな水」、そして「安曇野の人」であります。

「気候」としましては、山々に囲まれた安曇野は、冷涼で降雨量が少ないため、稲の病害虫が発生しづらく、さらに昼夜の寒暖差が大きいため、おいしいお米が育つ環境にあります。

「水」としましては、湧水となって安曇野を潤す雪解け水や、“世界かんがい施設遺産”の拾ヶ堰をはじめ、張り巡らされた数々の堰によって、豊かな水がもたらされております。

「人」といたしましては、高い技術をもって米づくりに尽力いただいている生産者の方々はもちろん、堰を切り拓いてきた先人たちのおかげで、安曇野はおいしいお米の産地となってきたのであります。

そうした安曇野のお米の魅力を発信すべく、安曇野ハーフマラソンではランナーの方に安曇野産米のおにぎりをお配りしたり、先週の土、日、穂高神社で開催された「新そばと食の感謝祭・農林業まつり」には、米農家に出席していただくなど、様々なイベント等で安曇野のお米をPRしているところであります。

しかしながら、新潟県などの米どころと比べましても、安曇野がおいしいお米の産地であると、全国的に認知いただくまでには至っていないのが現状であります。

今後は、議員からご提案いただいた「お米祭り」を含め、安曇野のお米をPRする方法を、さらに検討していきたいと考えております。

【中学生議会 市長答弁様式1】豊かな産業のあるまち②

質 問 区 分	中学生議会	議 員 名	寺尾 ^{てらお} 美緑 ^{みのり} 議員
発言順(通し番号)	NO: 8	所 管 課 ・ 室 名	都市建設部

質 問 事 項	交通整備について
具 体 的 な 提 言	地域住民に渋滞などの問題、苦情のアンケートを取り、ラウンドアバウトの有効性について検討して頂きたい

【市長答弁】

次に、寺尾^{てらお}議員のご質問にお答えします。

大王わさび農場周辺の渋滞対策として、ラウンドアバウトにしてみてもどうか。とのご提言であります。

大王わさび農場は日本最大規模のわさび農場で、年間約 120 万人の観光客が県内外から訪れております。

大王わさび農場の入口は、御法田交差点の一か所であるため、観光シーズンになりますと交差点付近では、渋滞が発生しております。

渋滞の解決策としましては、市道の交差点を改良もすることながら、観光客を受け入れる側の（大王わさび農場の）駐車場の拡張なども必要ではないかと思われま

す。
交差点をラウンドアバウトにすることの効果は、重大な事故につながらないことや、災害時に停電があったとしても交通機能を阻害されないこと、信号待機時間分のCO2排出量が抑えられること。など交通の円滑化以外にも様々な効果がござい

市としましては、適用条件が合う交差点については、環状交差点に改良するなど、普及促進を図っていく考えであります。

なお、御法田交差点におけるラウンドアバウトの可能性など詳しい内容については、担当部長よりお答えします。

【中学生議会 市長答弁様式1】豊かな産業のあるまち③

質問区分	中学生議会	議員名	しもさと めい議員
発言順(通し番号)	NO:9	所管課・室名	商工観光部

質問事項	若い人が興味を示す観光について
具体的な提言	山や川などをアクティビティができるように設備を整え、体験できるツアーを企画して頂きたい

【市長答弁】

下里議員のご質問にお答えします。

若者が興味を示す観光についてのお尋ねであります。本市の魅力は、北アルプスの裾野に広がる農村景観や日本最大のわさび農場に代表される豊富な湧水群であり、東山からの眺望は、日本の原風景と称されています。

下里議員ご指摘のとおり、本市を訪れる観光客は、比較的、若年層が少ないものと思います。これは、都会の喧騒を離れ、ゆったりとした空間に癒しを求めて来られることが要因だと考えています。

しかしながら、特に山岳観光においては、近年の「山ガール」ブームに象徴されますように、中房登山口から燕岳、大天井、常念岳そして蝶ヶ岳への北アルプス銀座を縦走される若い女性登山者も多く、過日は、本市の山小屋を舞台に撮影された、女優の工藤夕貴さん主演NHKBSプレミアムドラマ「山女日記」も、2週にわたり放映されたところでもあります。

また、昨年度は国の「地方創生加速化交付金」を活用し「海外誘客プロモーション事業」において、欧米諸国をはじめ、11か国55名の外国人に、本市のアルプスを縦走するツアーや、レンタル電動自転車で周遊していた

だくモニターツアーなど、外国人誘客のための受け入れ体制整備に向け取り組みを進めております。

今後、若い方にも多数お出かけいただくために、自転車の活用、ハーフマラソンへの参加や多様な体験型の旅行メニューの造成などに取り組んでまいります。

豊かな産業のあるまちグループの、詳しい内容については、担当部長よりお答えします。

【中学生議会 部長答弁様式1】豊かな産業のあるまち①

質問区分	中学生議会	議員名	なかがわ 中澤 あらた 新議員
発言順(通し番号)	NO:7	所管課・室名	農林部

質問事項	農業・地域資源の活用について
具体的な提言	そば祭りの他に、お米祭りなどを催して安曇野市のことを伝える場をつくる

【部長答弁】

なかがわ
中澤議員のご質問にお答えします。

安曇野のお米の魅力を発信する場として、「お米祭り」についてご提案いただき、ありがとうございます。

議員の質問にもありましたとおり、安曇野市で生産される米の収穫量は、平成28年度では19,800tと多く、県内1位の収穫量を誇っております。

また、長野県産のお米は大変品質が高く、一等米比率は毎年1位、2位で推移しているほか、10aあたりの収穫量は平成28年度に全国1位となりました。

つまり、安曇野市は品質の良い美味しいお米がたくさん収穫できる、全国有数の米の好適地なのであります。

議員からご提案のありました「お米祭り」は、そんな安曇野のお米のイメージを広くPRする、大変良い機会になることと思います。

そこで先行事例がないか調べたところ、「そば祭り」が全国の様々な産地で開催されているのに対し、大規模に「お米祭り」を行っている産地が、意外にも少ないことがわかりました。

その理由としては、「主体となる事業者が限られてしまうこと」「お米だけでは集客力に欠けること」の2点が考えられます。

1点目については、「そば祭り」は地域のそば店組合や商工会が主体となり、そば店への誘客や地域の振興を目的に開催されておりますが、「お米祭り」となると、イベントによって直接的にメリットを得られる事業者は、JAや一部の大規模生産農家のみとなってしまいます。

2点目については、そば打ちは技術が必要で、製麺されたものでなければ家庭で食べることが難しいのに対し、お米は研いで炊くだけで気軽に食べられるため、単体のイベントで人を集めるのは難しいのかと思われまます。

そうした課題を踏まえて「お米祭り」を実現するには、いかに、主体となる事業者の範囲を広げ、イベント自体の魅力を高めていけるかが、カギとなります。

そこで、「お米」をメインとしつつ、それに合う「おかず」を飲食店等が提供する形のイベントが一例として考えられるかと思えます。

具体的には、来場者に炊き立てのごはんを配布し、ごはんに合う「おかずブース」を回っていただくスタイルです。

もちろん、議員からご提案のありました「安曇野の魅力」や「お米の生産方法」、「市の就農支援策」に関してPRするブースも設けるなども考えていきたいと思えます。

ただ、開催時期として考えられる新米の時期は、新そばの時期と重なりますので、現在、安曇野市で行われている「新そばと食の感謝祭・農林業祭り」の中で「新米」をPRしていくのが妥当かと思われまます。

現行の出店ブースの他に、お米をPRするブースを設け、安曇野産米を多くの方に発信して、より一層、このイベントを盛り上げていきたいと思えます。

今後、生産農家やJA、関係企業とも研究を行い、「安曇野産米」のPR・発信について、検討して参りたいと考えております。

【中学生議会 部長答弁様式1】豊かな産業のあるまち②

質問区分	中学生議会	議員名	寺尾 ^{てらお} 美緑 ^{みのり} 議員
発言順(通し番号)	NO: 8	所管課・室名	都市建設部

質問事項	交通整備について
具体的な提言	地域住民に渋滞などの問題、苦情のアンケートを取り、ラウンドアバウトの有効性について検討して頂きたい

【部長答弁】

次に、寺尾^{てらお}議員のご質問にお答えします。

大王わさび農場周辺の渋滞対策についてお答えします。

まず、寺尾議員から提案いただいた「アンケート調査」についてお答えします。

安曇野市では、「道路整備推進計画」を策定する際に、市民の皆様へアンケート調査を行い、調査項目の中で、「渋滞がひどいと感じる箇所」をお尋ねしたところ、「御法田交差点」とお答えいただいた方のいらしたことから、課題のある交差点だと認識しております。

アンケート調査については、道路整備推進計画の見直しに合わせて定期的に行うとともに、VICSの渋滞情報等も活用しながら、交通実態把握に努め、安全で快適な道路整備を進めてまいります。

次に、ラウンドアバウトの有効性と、御法田交差点における可能性についてお答えします。

ラウンドアバウトの特徴の一つとして、信号による待ち時間がないことから、円滑な自動車の流れは期待できるものと考えます。

特に交通量の少ない時には、環道内に車もなく一時停止も必要ありませんので、そのまま徐行しながら流入することができます。

反面交通量が多い交差点では、環道内に車が多く流入している場合、スムーズに環道内に入れられないこともあるかと思えます。

ラウンドアバウト導入を検討する上での目安として、1日の交差点流入量が1万台未満であり、かつピーク時における一つの流入部の自動車交通量が1時間当たり100台未満であれば、適用できるとされております。

平成27年10月に御法田交差点付近で交通量調査を行った結果、12時間当りの交通量が上下線合わせておよそ1万3千台、ピーク時の時間当りの交通量も700台を超えており、目安となる基準値を上回る状況でした。

このことから観光シーズンにおいては、この交通量を更に大きく上回ることが予想され、ラウンドアバウトの導入効果は得られにくいと考えます。

ラウンドアバウトがもたらす効果については、先ほどの市長答弁にもございましたが、市内における渋滞箇所や、事故発生の多い交差点などについて、適用条件が合う箇所については、ラウンドアバウト導入に向け、検討してまいります。

【中学生議会 部長答弁様式1】豊かな産業のあるまち③

質 問 区 分	中学生議会	議 員 名	しもさと めい議員
発言順(通し番号)	NO: 9	所 管 課 ・ 室 名	商工観光部

質 問 事 項	若い人が興味を示す観光について
具 体 的 な 提 言	山や川などをアクティビティができるように設備を整え、体験できるツアーを企画して頂きたい

【商工観光部長答弁】

しもさと
下里議員のご質問にお答えします。

それでは、海外誘客戦略も含め若者に魅力のある観光振興について答弁いたします。

世界的な観光ブームと日本人気を背景に訪日外国人観光客数は増加の一途を辿っており、政府は東京五輪が開催される平成32年(2020年)の目標を4,000万人としています。昨年度の訪日外国人は約2400万人と増加の一途を辿っています。

こうした状況を踏まえ、安曇野市においても昨年度からインバウンド推進のための戦略を作成し、食を含めた海外プロモーションや受入環境整備等の取組を進めているところがあります。

昨年8月～9月にかけて、山と平地を融合した比較的若い世代を中心とした外国人モニターツアーを計5回実施し、その全体評価は、3000m級の北アルプスの山容を目の当りにされ、その眺望のすばらしさや山小屋のクオリティーの高さや、平地においても、日本的な文化などに対する関心が高いことがわかりました。

我が国は人口減少社会を迎えており、このことは観光施策の中でも大きな課題であり、その解決には急増する訪日外国人や若者の当地域への取り込みが、大きな目標となっております。

いかに、目的地としてお出かけいただくか、細やかな情報発信を行うとともに、観光事業者への外国語研修やスマホでの対応など、受入れ体制の充実を図り、本市の自然や文化を満喫しながら、豊かな時間を過ごしていただけるよう、今ある観光素材に磨きをかけるとともに、広域的な取組みを推進してまいります。

安曇野市観光協会におきましても登山ツアーやウォーキングなどのアクティビティ体験メニューも数多く企画、催行しているところがございます。また、信州安曇野ハーフマラソンや松本市から本市を通り白馬村までの自転車レース「センチュリーライド」などのスポーツによる誘客も重要と考えています。

今後も本市の豊かな自然や地域に根差した文化等を体験する魅力的なアクティビティやガイドツアー等の開発など、観光事業者や海外の旅行会社等と連携した戦略的なプロモーションについて検討して参りたいと考えております。